

令和元年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2019005

プロジェクト名 F1in Schools 世界大会チャレンジ

プロジェクトの概要

理工学部・芸術学部・経済学部生を中心とする学生が、世界最大級のSTEM教育プログラムであるF1inSchoolsの世界大会にチャレンジし、その経験を附属高校生や次年度の学生たちに繋いで行くとともに、このチャレンジを通じて学部間・高大間の連携を強めていくことを目指す。

プロジェクトの結果・成果

F1inSchools (以下 FIS) 世界大会が11月 UAE 開催となり、高校生の期末試験期間と重なったため、初期のプロジェクト目標を変更し、次年度以降に FIS のノウハウを維持するため急遽大学生チームで世界大会の参加を目指した。そこで、初期のプロジェクトメンバーに加え、世界大会に参加可能な年齢である大学1年生をプロジェクトに参加してもらうこととした。理工学部・芸術学部と連携し、チームコンセプト、チームロゴ、SNS (HP, Twitter, Instagram)、ピットディスプレイ、チーム紹介動画、大会用プレゼンテーション資料、口頭プレゼンテーション等を作成し、世界大会に参加した。これに加え、大会参加に掛かる費用を調達すべくスポンサー獲得を目指し、スポンサー候補に電話連絡・訪問・プレゼンテーション等を実施し、さらにはクラウドファンディングにも挑戦した。世界大会には25カ国55チームが参加しており、非常にレベルの高いコンペティションであった。残念ながら、世界大会では入賞できなかったが、我々は各国の代表チームと交流し、彼らから FIS のノウハウを教えてもらうなど次年度以降に向けた努力をするとともに、日本大学を紹介し本学の知名度を高める努力もした。帰国後は、スポンサー候補に大会の参加報告をして今後の協力をお願いした。また、附属校の生徒らに大会参加の報告とともに FIS の説明をし、我々が得た経験を伝える活動を継続している。この活動の成果として、豊山女子校の生徒が来年度「Team Amuse」と「Team WA」を引き継ぎ世界大会への参加を希望している。我々は次年度、彼らのチャレンジをサポートしていく予定である。

活動写真

